

Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2021/06/21

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	31.49	0.08
JPY/THB	0.2857	0.0005
USD/JPY	110.21	0.00
EUR/THB	37.37	-0.06
EUR/USD	1.1864	-0.0043
USD/CNH	6.462	0.0005
SGD/THB	23.42	0.01
AUD/THB	23.56	-0.18
USD/INR	73.87	-0.21
USD Index	92.23	0.34

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	0.917	-0.025
10Y (THB)	1.863	-0.006
5Y (USD)	0.875	-0.006
10Y (USD)	1.438	-0.066

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,767.9	-5.9
WTI (Oil)	71.64	0.6
Copper	9,145.5	-170.0

Stock

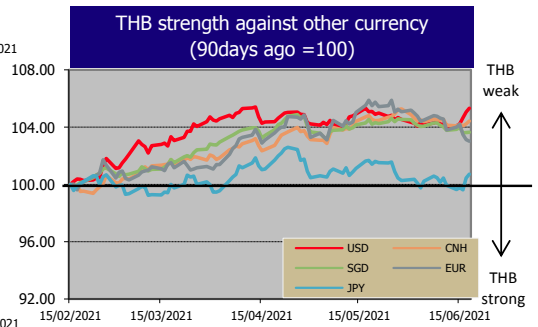
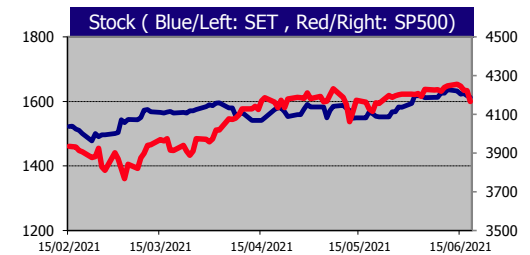
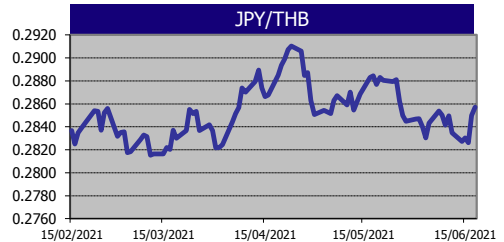
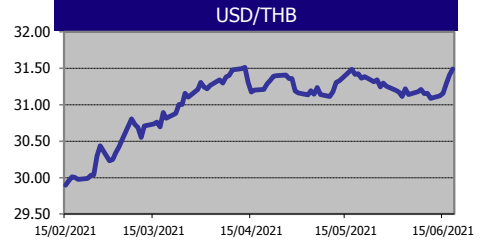
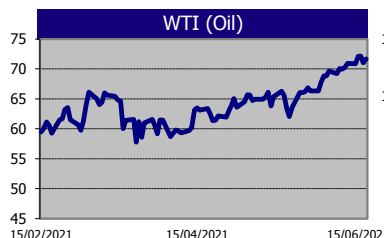
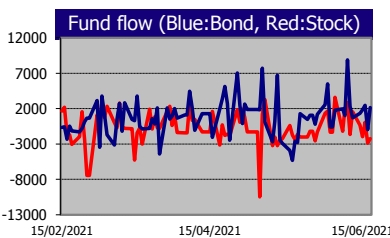
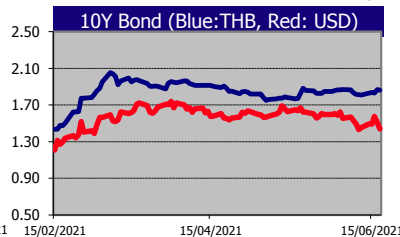
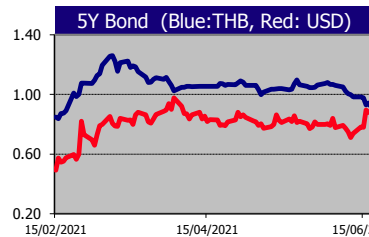
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,612.98	-4.67
NIKKEI (JP)	28,964.08	-54.25
DOW (US)	33,290.08	-533.37
S&P500 (US)	4,166.45	-55.41
SHCOMP (CN)	3,525.10	-0.51
DAX(GER)	15,448.04	-279.63

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(2,250)	637.9
Bond net flow	2,149	3113.9

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

18日のドルパーツは31パーツ半ばで取引開始。朝方は17日夜間に上昇した反動からドル安方向へ一時動くも、引き続きドル指数が約2ヶ月ぶり水準を維持する中、バンコック時間終盤には朝方の下げ幅を取り戻した。海外時間、ハト派で知られるセントルイス地区連銀のブラード総裁が2022年終盤に利上げをすべきとの見解を示すと、一段とドル高が進行、週高値を更新して引けた。

●ドル円その他

18日のドル円は110円前半で取引開始。アジア時間は米金利が小幅に下落する中、夕刻にかけて一時110円を割り込む動きが見られた。しかし、海外時間にはFOMCで発表されたメンバーの利上げ予想よりも更に早い2022年終盤の利上げをハト派と言われているメンバーが主張。ドル円は110円半ばまで反発するが、米株安、米長期金利低下の中でドル円の上値は限定的だった。

Bangkok Dealer's Eye

サプライズとなった6月FOMCを終えて、ドル安基調だったドルパーツの動きは一変、ドル高パーツ安に傾きました。加えて、先週18日にはハト派で知られるセントルイス地区連銀のブラード総裁が2022年終盤の利上げを主張したことから、ドルが一段高となり、6月11日から18日までの1週間で約1.4%対ドルでパーツが下落しています。再びテーパリングの議論が活性化していきそうですが、それでもパウエル議長は雇用市場が今後1~2年で非常に堅調になると予測しており、パウエル議長のテーパリングに対するスタンスとしてはあまり大きな変化はないのかもしれませんが、足元はこれまで対ドルで堅調だったユーロや人民元、ポンドに対するドルの反発が引き金となってドルパーツの上昇を促していると考えていますが、利上げ自体がFOMCの目的ではないとのパウエル議長コメントもあるため、時間の経過とともにドル高の動きも弱まり、再びドルパーツは上値重い展開になっていくものと考えます。ただし、これまで対ドルで上昇を続けてきた通貨の下落が続くようであれば、ドルパーツの年初来高値更新という可能性も否定出来ません。この状況下、明日に予定されているパウエルFRB議長の議会証言、23日のタイ中銀MPCCに注目しております。(鈴木)